

総務省の今後の取組について

【説明資料】

2006.3.24

総務省

- 来年度以降、平成16年度・17年度実証実験成果等の周知に努める

① ワーキンググループの提言書

ウェブ情報アーカイブに係る提言書及び実証実験報告書の公表

② 実証実験成果の公開

メタデータ記述ツールの配布（ウェブ公開等）。
ウェブ情報アーカイブの基本システムの仕様公開。

③ イベント等の活用

シンポジウム等の開催により、上記成果を発信。

- 2年間のWGの成果として、調査研究及び実証実験についてとりまとめた提言案を検討。
- 具体には以下のような構成とし、社会的認知の促進等に活用できるものとして整理していく。

ポイント

目次案

1. ウェブ情報アーカイブとは
2. ウェブ情報アーカイブの意義
3. ウェブ情報アーカイブのイメージ
4. ウェブ情報アーカイブの展開に向けて
 - 産・学・官の役割分担
 - 展開の方針
 - (1) 展開のための取組み1と課題
 - (2) 展開のための取組み2と課題
 - (3) 展開のための取組み3と課題
 - (4) 展開のための取組み4(認知促進)と課題
5. 実証実験成果の活用

・検討対象の定義。
・諸外国と比較した我が国の状況。

・文化財的意義。
・ニーズ対応／コンテンツ流通の促進・高度化。

・利活用シナリオの提示。

・主体別の役割分担。
・社会的認知の促進。
・目的と短期、中長期の具体スケジュール。

※実証実験取りまとめを受けて反映。